



多職種で在宅ケアを考える 9/6

地域包括ケアシステムの構築を目指す多職種連携会議が研修センターで開かれ、医療、介護、行政関係者ら約150人が参加しました。市家庭医療センターしろわクリニックの金子惇医師が講師となり、在宅ケアについて学びました。また、参加者は「自分らしい最期」などをテーマに活発に意見を交わしました。

◀多職種の職員が集まって共通のテーマについて考えた



個性あふれる児童の作品展 9/12~10/14

市内小学校美術作品展が市立図書館で開催され、市内五つの小学校の児童が作った作品が展示されました。展示されたのは授業で描いた絵や夏休みに作った木工作品など各校約40点。市外から訪れた岩本圭世さんは「どれも本当に上手。夏休みの楽しかった思い出が目浮かぶよう」と一つ一つ鑑賞しました。

◀児童の力作をゆっくりと見て回る岩本さん



五穀豊穡を願い赤飯沈める 9/23

遠州七不思議の一つ、桜ヶ池納櫃祭のうひつが池宮神社で開催されました。県の無形民俗文化財に指定されている、850年続く神事。14人の氏子若人うじこわこうどがお櫃を沈めるたび、来場者から拍手が送られました。比叡山の高僧、皇円上人こうえんしょうにんを供養するとともに、五穀豊穡と心願成就ほんごじょうを祈願し、68櫃が納められました。

◀一人ずつ池の中央まで立ち泳ぎで進みお櫃を沈める遊泳団



給食で地元特産品味わおう 9/27~28

遠州夢咲牛を使った「夢咲牛ハヤシライス」が、市内の幼保こども園や小中学校の給食として提供されました。白羽小学校では、夢咲牛の生産者が児童と共にハヤシライスを食べ、交流を深めました。「お肉が軟らかい」、「甘くておいしい」とにぎやかに食べる児童らに生産者も顔をほころばせていました。

◀おいしい夢咲牛ハヤシライスに笑顔を見せる児童